



# THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU CITY

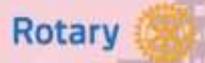
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2790 ORGANIZED : Nov.20.1991

2023~2024 年度 第2790 地区

ガバナー 鶴沢 和広(千葉若潮RC) 第5グループガバナー補佐 野村 進一(上総RC)

富津シティRC 会長 和田 充敏 幹事 阿部 信一 SAA 渡邊 敏

世界に希望を生み出そう



国際ロータリー第2790地区  
富津シティロータリークラブ  
創立1991/11/20日  
承認1992/1/13

例会場:日本製鉄技術開発本部(富津クラブ)千葉県富津市新富 20-1 例会日:毎週水曜日12:30~13:30 最終18:00~19:00

通算 1454 回 例会 2023 年 11 月 1 日 (水)

## 【点鐘】

【ロータリーソング】:ソングリーダー 秋山 会員 SAA 渡邊さん欠席→代理栗坂さん  
君が代/ロータリーソング 奉仕の理想

## 【会長挨拶】: 和田会長欠席→代理窪田副会長



本日は、挨拶の前に公私共にお忙しい中ご来訪頂きましたお客様のご紹介をさせていただきます。

第2790地区ロータリー財団地区補助金プロジェクト委員長 富 一美(とみ かずみ)様です。

本日のプログラムにおいて「地区補助金について」および「補助金を活用したプロジェクト」の紹介を頂く予定ですので宜しくお願い致します。

さて 先日は、「富津文化祭 こども祭り」に多くの会員の皆様にご参加頂きまして誠にありがとうございました。今回、働く車の展示と縁日のカタヌキ・ポリオの広報活動を催し総勢180~200名の方に参加頂きました。働く車には、大人も子供も大きな重機に興味深々で一生懸命レバー等を操作する姿は、子供達に未来の職業の一つにきっかけになったかもしれません。

またカタヌキにおいても昔を懐かしがる親御さんや初めての体験に一所懸命削っている姿には、時を超えても楽しいことは楽しいと思える時間でした。

ただ反省は、カタヌキの図柄が非常に難しかったので今度は簡単なものを用意したいと思います。

毎度重機展示を下さる遠藤さんやお茶の差し入れを下さった秋山さん。キャタピラーの方や遠藤さんの従業員川名さんにお礼を申し上げたいと思います

下準備をしてくださった伊藤委員長はじめ委員の皆様。新会員の皆様も精力的に活動頂きましてありがとうございました。

最後にこのような活動を地区補助金を活用しさらにより催しができるように本日のプログラムをお聞きください。宜しくお願い致します。

## 【幹事報告】: 阿部幹事

1. 「鋸山を日本遺産へ」応援プロジェクト実行委員会報告

- 12月2日(土)14:00~18:30に開催される。地区環境委員会(窪田委員長)が主催する環境クリーン活動、立石会員による花火打ち上げもあるので、活動支援のために当クラブの会員各位の参加をお願いしたい。

- 詳細の取組みについては、次回 11 月 15 日（水）の実行委員会で確定される。
2. 富津市民文化祭 2023 子供まつり型抜き売上金
- 型抜き売上金 ¥4,000 は「ポリオプラス」として寄付をする。
3. 親睦研修旅行の負担金
- 10/19 付け見積りでは、総費用 ¥220,100 なので負担金は以下とする。
  - 個人負担…当クラブ：¥5,000/人，川崎 MRC：¥7,000
  - クラブ補助金…視察会：¥100,000，例会負担：¥24,000
  - 雑費などで不足が生じたらクラブ管理運営委員会親睦会費より充当する。

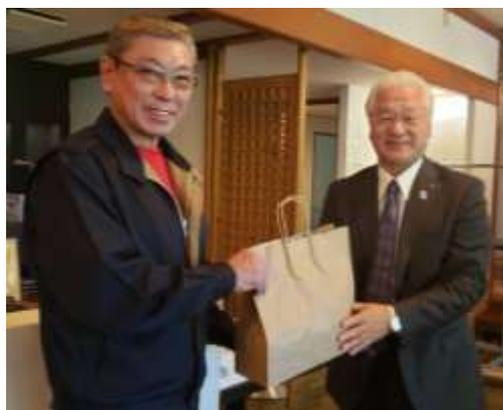
**【誕生・結婚】**：10/27 誕生日和田会長→次回お渡しします

**【委員会報告】**：クラブ管理運営委員会：江藤会員



[★2023-24 年度 富津シティ RC 年間活動計画 2023.11.pdf](#)

**【例会プログラム/財団卓話】** 地区補助金プロジェクト委員会 富一美委員長



地区補助金プロジェクト委員会 富一美委員長本日はありがとうございました

富津シティ RC の皆様、こんにちは。

本日は、地区ロータリー財団委員会の方へ卓話のご依頼をいただきましてありがとうございました。また、日頃はロータリー財団へのご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。私は今年度地区補助金プロジェクト委員長を仰せつかっております成田空港南ロータリークラブ&千葉コネクトロータリー衛星クラブの富と申します。二つのクラブに所属しております。どうぞ、宜しくお願いいたします。

卓話依頼書の内容が「地区補助金について」および「補助金を活用したプロジェクトの紹介」をご希望とのことでしたので、地区補助金プロジェクト委員会の方からお伺いさせていただきました。それでは、順を追ってご説明をさせていただきます。

◆補助金の規模と期間についてご説明をさせていただきます。

・まず、初めに1回限りの比較的小規模なプロジェクトが対象でございます。

・次に、国内の活動でも、国際レベルの活動でも可能でございます。

(海外の場合には、相手国にロータリークラブが無くても可能となっております。)

・次に、補助金を受ける年度内に報告書の提出を完了するまでが期間ということをご留意いただきたいと思います。

※ただし、いずれの場合もですね、ロータリー財団の定める『ロータリー財団 地区補助金 授与と受諾の条件』を遵守することが求められております。

これは、後ほど補助金マニュアルの 59 ページ~69 ページをご参照いただきたいと思います。

以上が、規模と期間についてのご説明でございました。

◆補助金の金額について順を追ってご説明をさせていただきます。

昨年度実施した「地区補助金に関するアンケート調査結果」を受けまして、2023-24 年度に実施されるプロジェクトに限りまして、試験的に申請内容が3点ほどブラッシュアップされまして申請内容の幅が広がっております。

これは、未だ正式決定ではございませんが、このブラッシュアップされた3点につきましては、財団委員会の中で、次年度も今年度同様の申請条件で進める方向で考えております。

ブラッシュアップされた一つ目になりますが、プロジェクト1件あたりの補助金上限額が、変更前は30万円でしたが、変更後は60万円使用可能となっております。

(※これに関してのクラブ拠出金の割合は従来通り変更がなく、事業費支出の50%以上で、補助金の下限の設定も従来通りございません。)

※また、申請が地区補助金予算の限度額を上回ってしまった場合には、減額措置をとらせていただく場合もございますので、ご承知置きいただきたいと思います。

ここで、分かり易いように、クラブ拠出金の具体的な例をお示ししたいと思いますので、スライドの表をご覧くださいと思います。

1) まず、事業総額が、120万円以上の場合、地区補助金支給額は最大60万円で、クラブ拠出金は残りの金額を拠出していただくこととなります。

2) 続いて、事業総額が、100万円までの場合、クラブ拠出金は50万円以上で、地区補助金は残りの金額を拠出いただくこととなります。

3) 続いて、事業総額が、50万円までの場合、クラブ拠出金は地区補助金の同額以上で、地区補助金はクラブ拠出金の同額以下となります。

以上が、補助金の金額のご説明でございました。

◆クラブからの補助金の申請可能件数について説明をさせていただきます。

ブラッシュアップされた二つ目になりますが、クラブからの申請可能な件数が変更前は1クラブあたり1件のプロジェクトまでであったものが、変更後は最大2件のプロジェクトまで申請可能となっております。ちなみにですね、当地区では、今年度実施分の申請で、1クラブ2件申請をされたクラブが4クラブございました。

※但し、TRFから受給される補助金には/限りがございますので、プロジェクトの優先順位を申請時に申告いただきまして、全てのクラブからの1件目の申請承認後、補助金に余裕があった場合にですね、2件目の申請承認をおこなわせていただきます。事業の優先順位を必ず申請書に記載をしていただきたいと思います。

以上が、申請件数のご説明でございました。

◆受益者が変わる/複数年度プロジェクトについてご説明させていただきます。

これは、ブラッシュアップされた三つ目になりますが、受益者が変わる複数年度のプロジェクトにつきましては、変更前はその都度協議していたものが、変更後は、最長5年までのプロジェクトが申請可能となっております。ちなみにですね、当地区では、今年度実施分の申請で、複数年度のプロジェクトの申請をされたクラブが、6クラブございました。

複数年度のプロジェクトを計画されておられる場合は、地区補助金申請書10番の長期計画書の欄にご記入をいた

だくこととなります。また、従来通り、同一事業、つまり（受益者・授与者・内容がすべて同じプロジェクト）におきましては、2年連続の申請はできませんのでご承知置きいただきたいと思ひます。

【理由としましては、特定の受益者、団体、地域社会に対する継続的または、過度の支援にあてはまるため】としております。

具体的には、同じ支援が続いてしまうことで/受益者の自立を妨げてしまうことを避けるためでございます。受益者が、ロータリーの補助金による継続的な支援がないと生活や活動ができなくなってしまうというような状況を作りださないよう TRF から指導がございますので、その辺のところをご理解いただきたいと思ひます。

それじゃあ、3年目だったらどうなるんですか？というご質問が良くあります。これは可能です。但しですね、申請数が多く、申請が地区補助金予算の限度額を上回ってしまった場合、一定のルールに従って他のプロジェクトより大幅な減額の対象となる場合がございますのでご承知置きいただきたいと思ひます。地区補助金の概要のご説明はこの辺にさせていただきます。

◆申請から終了報告書までのスケジュール感についてご説明させていただきます。

- ・提案書相談時期は、2024年3月31日まで/随時受け付けます。
- ・申請書提出期間は、2024年3月1日～3月31日までで、締切期日としては、3月31日当日消印有効となります。
- ・審査期間は、2024年4月1日～4月17日までで、4月20日が最終の補助金選考会となります。
- ・補助金の交付期間は、TRFより地区に補助金が振込まれ次第となります。  
その際に、為替（Rレート）によって地区補助金の支払い額が増減することがありますのでご了承いただきたいと思ひます。
- ・プロジェクトの実施期間は、2024年7月20日ごろ（予定）～2025年4月30日までです。
- ・最終報告書提出期日は、原則プロジェクト終了後1ヵ月以内で/最終期限は2025年5月30日となります。  
以上が、申請までのスケジュール感のご説明でございました。

◆2023-24年度の/地区補助金の活用傾向について簡単にご報告させていただきます。

今年度、地区内のクラブの皆様から申請された補助金プロジェクトは41件、それから2790地区ロータリー財団委員会が今回の財団セミナー等の開催費として2件、それから地区補助金奨学生分として1件の合計44件でございましたが、クラブの都合でプロジェクトを中止されたクラブが1クラブございましたので、差し引き43件となりました。

地区補助金の活用傾向は、教育の分野が圧倒的に多く半数を超えまして、残りは表の通りとなっております。

◆具体的な43件の地区補助金プロジェクトの内容一覧につきましては、お手元に配布してございます/申請クラブ一覧を後ほどご覧いただきたいと思ひます。

◆この後、富津シティークラブさんからのご要望に基づきまして、2023-24年度、地区補助金を活用した他クラブからの申請されたプロジェクトの簡略化したご紹介を40件全部できるとは思ひませんが、時間の範囲でさせていただきますと思ひます。

◆他クラブからの申請されたプロジェクトの簡略化したご紹介  
(30クラブまで説明した時点で以降は割愛しご質問に切り替え)

以上を持ちまして、卓話の方は終了とさせていただきます。

具体的な申請方法につきましては、来年2月3日の補助金セミナーでご説明させていただきます。ぜひ本日の他クラブのプロジェクトの事例を参考にして早めのテイクアクションをしていただき、ぜひ今年度ご申請をいただけることをお待ち致しております。

どうぞ宜しくお願ひを申し上げます。ご清聴有難うございました。

## 【ニコニコ BOX】

富 様 : 本日はお招きいただき有難うございました。

緒形様 : 本日は貴重なお時間を頂きありがとうございます。多少は遠い久留里ですが大きく見れば地元です是非ご参加下さい。

阿部幹事 : 地区補助金プロジェクト委員会 富委員長本日は卓話ありがとうございました。今後共ご支援よろしくをお願いします。

窪田会員 : 本日は地区補助金プロジェクト委員長で成田空港南 RC 所属の富一美様貴重な卓話ありがとうございました。

江藤会員 : 富様 本日はありがとうございます。今後共よろしくお願い致します。

栗坂会員 : 富委員長におかれましては本日は卓話ありがとうございました。我々も地区補助金を有効に活用し地域に世界に貢献したいと存じます。

## 【出席報告】クラブ管理運営委員会 : 伊藤会員→代理江藤会員

| 区分        | 会員数 | 出席 | 欠席 | Make up | 出席率    |
|-----------|-----|----|----|---------|--------|
| 今回(11/1)  | 16  | 11 | 5  |         | 68.75% |
| 前回(10/11) | 16  | 13 | 3  |         | 80%    |

次回 11 月 8 日 例会

